

絵を見て、まちがいを10カ所見つけてね。
正解者のうち、抽選で5人に図書カードをプレゼントします。



応募方法

はがきまたはファクスに①答え(どちらかの絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥**広報紙の感想**などを書いて秘書広報課(〒443-8601 FAX 66-1192)へ。当選者と答えは、広報がまごおり3月号に掲載します。

締切 1月15日(日)

11月号当選者

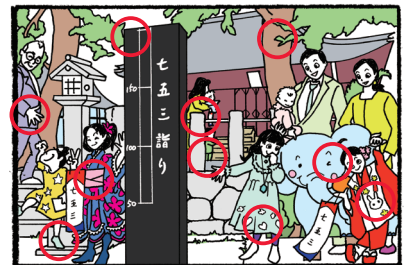
- 飯島いづみ(中央本町)
- 市川 英都(平田町)
- 金澤 俊和(平田町)
- 彦坂 裕子(神明町)
- 森 景汰(栄町)



画:とうふねこ座
市川雅子

(50音順・敬称略)

11月号の答え



出初式

出初式は、1年間の無火災と無災害を祈るため、1月初めに行われる消防の伝統行事です。消防職員や消防団員が分列行進や一斉放水を行い、一斉放水では、空に大きな虹のアーチがかかります。

消防職員も消防団員も消火・救助活動をするという点では同じですが、交代で24時間常駐する消防職員とは異なり、火災や災害の発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけるのが消防団員です。消防団の歴史は古く、江戸時代に設置された町火消「いろは48組」が、今日の消防団の前身であると言われています。その「いろは48組」の中には「め組」という組がありました。「め組」というと、思い浮かぶのはラッツ&スターが歌う「め組のひと」ですね。「いなせだね」から始まるこの歌。「いなせ」とは、粋で男気があることです。そう表されるように、江戸時代の火消は粋な男を代表するような存在でした。現代の消防団員は、地域を守るために自ら立ち上がったヒーロー。昔と変わらず今も、いなせな人たちがそるっているのでしょうか。